

# 二〇二四年を振り返って

## 全館統一展示

### 『源氏物語を楽しむための王朝貴族入門』

繁田信一／著 吉川弘文館 2023.1  
ISBN:978-4-642-05978-7

大河ドラマ『光る君へ』で改めて脚光を浴びた源氏物語の舞台となった宮廷には、実は史実とは異なる巧みな「設定」が加えられていました。ではどこがどう違うのか、実際の帝の一日は…など、わかりやすく解説し、『源氏物語』を一層楽しめます。

### 『ヒグマ大全』

崎允昭／著 北海道新聞社 2020.4  
ISBN:978-4-89453-984-6

くまの人里への頻出が報じられますが、本書はくまと人間の共存を願う著者の、50年に及ぶ実地研究の成果です。綿密な観察に基づきくまの生態や習性を解き明かし、数々の接触事例を分析。人的被害防止とくまの捕殺減少を両立する対策を提言しています。

### 『武蔵の酒蔵めぐり。』

#### —おとりよせよりおでかけ—

おでかけNA埼玉制作班 山崎美奈子／編 徳間書店 2020.2  
ISBN:978-4-19-865039-1

清酒出荷量全国5位、消費量4位と、実は隠れた地酒パラダイス、埼玉。見学できる酒蔵も多く、酒造りの懐深さを感じることができるでしょう。まだ見ぬ地酒が楽しみになる一冊です。

### 『Q&Aで読む縄文時代入門』

山田康弘 設楽博己／編 2024.5  
ISBN:978-4-642-08449-9

静かに続く縄文ブーム。何が我々をそこまで惹きつけるのでしょうか。最新の研究成果から見てきた時代像を、DNA・土偶・衣食住など54のテーマで切り取り、縄文へと誘います。

### 『新紙幣完全ガイド』

晋遊舎 2024.8  
ISBN:978-4-8018-2319-8

大きな数字が子ども銀行券みたいと話題を呼んだ20年ぶりの新紙幣。日本の紙幣の歴史と、新紙幣に投入された数々の技術を紹介すると共に、デザインに選ばれた洪沢栄一・津田梅子・北里柴三郎の事績をたどり、ゆかりの地をめぐる。ちなみに、数字の大型化はユニバーサルデザインだそうですよ。



「例年のごとく」諸々の  
話題に事欠かなかった  
2024年を回顧します。  
2025年が皆様にとって良  
い年でありますように。

## 第22回

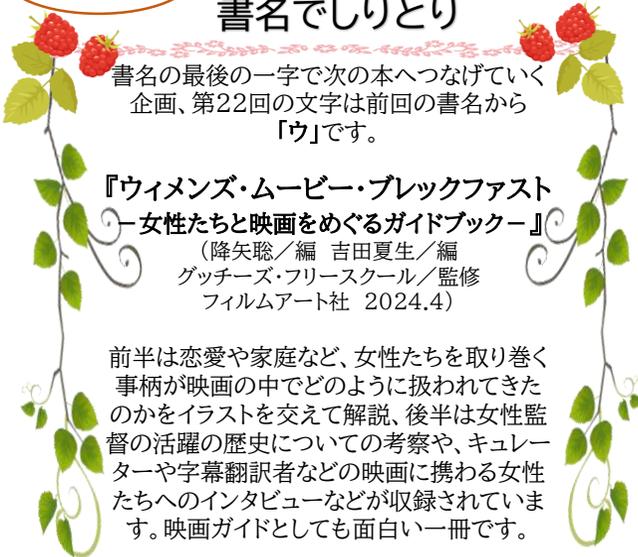
## 書名でしりとり

書名の最後の一字で次の本へつなげていく企画、第22回の文字は前回の書名から「ウ」です。

### 『ウィメンズ・ムービー・ブラックファスト —女性たちと映画をめぐるガイドブッカー—』

(降矢聡／編 吉田夏生／編  
グッチーズ・フリースクール／監修  
フィルムアート社 2024.4)

前半は恋愛や家庭など、女性たちを取り巻く事柄が映画の中でどのように扱われてきたのかをイラストを交えて解説、後半は女性監督の活躍の歴史についての考察や、キュレーターや字幕翻訳者などの映画に携わる女性たちへのインタビューなどが収録されています。映画ガイドとしても面白い一冊です。



Chiratto  
Vol.51

2025年2月-2025年3月号

特集  
1

2024年を振り返って

特集  
2

うたをよむ

連載

書名でしりとり

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ  
FM西東京で紹介した本

# うたをよむ

入唐した吉備真備が解読に挑んだ野馬台詩。神仏の助けで読解に成功したものの、いったいどういう意味なのか。中世に予言書として取り扱われた野馬台詩を扱った一冊。

『中世日本の予言書』  
▲未来記Vを読む』  
小峯和明／著

漢詩  
岩波書店  
2007.1  
ISBN: 978-4-00-431061-7

ポップな詩歌ならいざ知らず、短歌・詩集・俳句となるとチョット……と身構えてしまいがち。この機会に、苦手意識を克服してみませんか？

和歌の解釈は秘伝書があれば大丈夫！実はその秘伝書は誰かが作ったものかもしれない。有名どころの名前を借りてまで誰かが主張したかったあやしい歌の世界へ、いざ。

『日本古典偽書叢刊 第一巻』  
小川豊生／責任編集

歌論  
現代思潮新社／  
2005.1  
ISBN: 4-329-00439-9

世間から注目を集める一大和歌イベント・歌会始。その主宰たる天皇家が詠む数々の御製御歌を時代背景と共に論じた一冊です。

『象徴のうた』  
永田和宏／著

短歌  
KADOKAWA  
2024.11  
ISBN: 978-4-7678-2672-1

丸括弧や記号(○□△)、ゴシック体や幾何学模様を取り混ぜながら、何事かを語りかけている「ぼく」の思考を追いかけませんか。第36回詩歌文学館賞・詩部門を受賞した現代詩。

『暮しの降霊』  
森本孝徳／著

現代詩  
思潮社  
2020.10  
ISBN: 978-4-7837-3729-2

上から読んでも下から読んでも、同じ音になる回文。回文川柳の第一人者が、「官界・汚職」「恋」「酒」「人生」「男女の縁」など、25部門に分類した、自作の集大成。

『回文川柳辞典』  
島村桂一／著

川柳  
東京堂出版  
1998.7  
ISBN: 4-490-10483-9

## 特別整理休館のお知らせ

以下の日程で、各館順次休館いたします。ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2月4日(火)～6日(木):中央図書館  
3月4日(火)～6日(木):ひばりが丘図書館  
3月11日(火)～13日(木):柳沢図書館

## FM西東京で紹介した本

『台湾の喫茶店が愛しくて  
—地元っ子たちのお気に入り—』  
台湾大好き編集部／誠文堂新光社／2024.6

台湾の地元民が通う喫茶店を、お店のストーリーを通して紹介しています。数ある台北の喫茶店の中でも編者が偏愛する17店をセレクト。そのノスタルジックな雰囲気、日本人の自分でも、不思議と懐かしくて愛おしいと感じる喫茶店の数々。台湾旅行で有名な観光地を巡ったあと、地元っ子のいる喫茶店でコーヒーをいただきながら、ひっそりまったりと過ごすのも良いですね。

『アクセシブルブックはじめのいっぽ  
—見る本、聞く本、触る本』  
宮田和樹 ほか著／ポイジャー／2024.5

市川沙央さんが『ハンチバック』で芥川賞を受賞された際のコメントで、「読書バリアフリー」という言葉がクローズアップされました。図書館でも様々な形態のアクセシブルブックを提供しています。この本は、図書館のハンディキャップサービスを知るうえで、とても分かりやすく資料の紹介をしています。視覚障害のある方のための音訳図書をはじめ、点字図書や弱視者向けの拡大文字本、発達障害の児童のための布の絵本、LLブック、マルチメディアデイズーなど、普段聞きなれない様々な資料を知ることができます。

発行: 西東京市図書館  
<https://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>